



## 「進んで」に込めた思い

- 自ら判断し、進んで行動できる児童
- 誰にでも、進んであいさつができる児童
- 「ちょボラ活動」に進んで取り組む児童

6月16日本校ホームページに以下のような記事が掲載されていました。

友達より少し早く来た時間を利用して、進んで花壇の水やりや草抜きをする児童がいます。自分たちの学年だけでなく、他学年の花壇の手入れまでしていました。

進んでみんなのためになる行動ができることは、大変すばらしいことですね。



とても清々しい気持ちになりました。その他にも、あいさつ隊として、バスから降りてくる児童にあいさつを行ってくれる児童もいます。廊下に落ちているごみを拾ってくれる児童も増えてきました。

昨年度から「ひとはだぬぐ行動」を呼びかけ取り組んできました。今年度はランドデザインにも示したように、さらに、**北浦小PRIDE(プライド)をもって、『進んで』をキーワードに取り組んでいてもらいたい**と考えています。

児童には、4月6日の始業式の時に話しましたが、右上の『3つの進んで』を示しました。

① 本校の児童は、人に頼まれたことは、とても協力的に取り組んでくれます。さらに一歩成長した**「自分から進んで行動する姿」**が見たいと思います。はじめは、先生のやっていることを手伝うことからでよいので、進んで行動してもらいたいと思います。

② 昨年度の学校生活アンケートで「あいさつはできましたか？」への回答は95%でした。十分に満足いく結果です。しかし、その一方で先生方から「こちら(先生)からあいさつをしないとあいさつができない児童もいます。」という課題も指摘されました。そこで、**「進んであいさつができる児童」**を掲げました。私は自分からあいさつを、あえてしないようにしています。「おはようございます。」とあいさつをしてくれる児童もいれば、素通りしていく児童もいます。先週は児童からのあいさつが増えてきました。通常登校になった今週から、さらに増えることを期待しています。



③ 昨年度、運営委員会を中心に「ちょボラ活動」へ取り組んでくれました。低学年児童も巻き込んだウッドデッキ掃除、花壇に花植えなどがありました。ホームページの記事だけでなく、南校舎前の花壇に5・6年生がマリーゴールドを植えてくれるなど「ちょボラ活動」が少しずつ実践されてきています。**先生と一緒に活動や委員会の活動から「児童が自分たちでアイデアを出して取り組むちょボラ活動」へと発展することを期待しています。**

「ローマは一日にしてならず」ですが、北浦小も少しずつ自分から行動する児童が増えていくことを確信しています。児童の成長していく姿を学校だよりやホームページ、さらには新聞等で伝えていきたいと思っています。

## 雨の中の「奉仕作業」、御協力ありがとうございました。

13日(土)の奉仕作業は雨の中、御協力いただきましてありがとうございました。(天気に関しましては、何を言っても言い訳になってしまいますが、本当に申し訳ありませんでした。)特に、草払機で駐車場付近や土手の除草作業を行っていただきました保護者の皆様には、雨の中最後まで責任箇所を刈っていただき、大変御苦労をおかけいたしました。

次回は9月12日(土)を予定しております。よろしくお願いいたします。



